



# T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



心の花を咲かせよう  
がんばろう日本!

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2012年5月21日発行 第315号

2011-2012年度 No. 38

## W E E K L Y R E P O R T



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
国際ロータリー・クラブ会長

### 本日のプログラム

平成24年5月21日  
卓話『ユーロ危機ードイツの視点ー』  
駐日ドイツ連邦共和国 特命全権大使  
フォルカー・シュタンツェル 様

#### プロフィール

1948年9月 クロンベルク(フランクフルト・アム・マイン近郊)生まれ  
1968年～ フランクフルト大学にて日本学、中国学、政治学を専攻  
1972年～75年 京都大学に留学  
1979年 外務省入省  
1980年 ケルン大学にて哲学博士号取得  
1982年～

在日大使館 政務・広報担当、在ハンガリー大使館CSCE欧州文化フォーラム担当、在南イエメン大使館次席、本省欧州政治協力(EPC)担当課課長代理、在中国大

使館広報課長、本省緊急連絡本部長、社会民主党(SPD)ドイツ連邦議会会派外交担当、ジャーマン・マーシャル・ファンド(GMF 本部ワシントン)フェロー、本省原子力平和利用・不拡散政策担当課長、本省政務局長代理(アジア政策担当)、本省政務局長(アジア・アフリカ・中南米担当)を歴任

2004年～2007年 駐中国大使  
2007年～2009年 本省 政務総局長  
2009年12月 駐日大使

### クラブからのお知らせ [5月14日]

#### ● 安井会長挨拶

- 本日はグランドハイアット東京で森 佳子会員のご主人様森稔氏の「お別れの会」が行われております。私も例会終了後に皆様と一緒に献花をさせていただきます、ご冥福をお祈りしたいと思います。

#### ● 片岡幹事報告

- 5月19日土曜日9時より、六本木クリーンアップが開催されますので、ご参加ください。
- 4月19日に仙台南RCで行われた東日本大震災支援プロジェクトの贈呈式に安井会長、齋藤副会長と私の3人が参加しました。式に出席されていたRI第2640地区和泉RCに六本木のバナーをお送りしたところ、先日御礼のお手紙を頂戴しました。

#### RI第2640地区和泉ロータリー・クラブ 会長 須藤 実 様から頂いたお手紙

本年度のクラブとしての東日本大震災の復興支援ということでは、特に被災にあった子供たちに具体的に支援できないかということがテーマでありまして、今回の仙台南ロータリー・クラブが企画また、それにいち早く共同参画された貴クラブのプロジェクトがまさにぴったりでありました。両クラブとその地区の皆様方に深く敬意を表します。また、今回のプロジェクトに参画させて頂いたことに改めて感謝申し上げます。

しかし、我々は、支援活動はこれからだと考えています。今回の仙台訪問の結果を会員全員に報告し、これからの支援のあり方を全員で考えたいと思っています。今回私は、ロータリーの素晴らしさを実感し、ロータリーを通じて貴クラブとも縁ができました。何かの機会にお会いできれば幸いですと思います。

(一部抜粋)



平成24年5月7日

## 卓話『間違いだらけの医者選び』

医師・ジャーナリスト

富家 孝 様

富家でございます。年功序列終身雇用も変わり、昔無かったインターネットもあって時代が変わりました。ただ医者の世界は全然変わってないですね。医療界、大変不思議な世界です。

一つは偏差値の高い人。東大理科Ⅲ類と慶応医学部。この二つが71.5と、とにかく高い人になっている。もう一つは家がお金持ち。私大29校のうち6年間で授業料だけで3千万以上かかるところが21校あります。大体、金があるか偏差値の高い人っていう非常に不思議な集団で、かつ世襲制が高い。自民党は世襲議員が多いとか言ってます。45%もいかない。医者の世界は9割を越しています。

世の中では患者が医者を選ぶ時代なんて言ってますけど、そういう集団に皆さんは対応しなきゃいけない。1999年コペルニクス的展開があり、横浜市大で肺の手術を心臓にしたという間違いが初めて出た。そのあと都立広尾病院で点滴に消毒薬を間違えて入れたっていうのが出た。あれ昔なら内緒だった。別に最近増えたわけじゃないんです。

内科は診断がつけば治療は決まる。診断学と言う人もいます。外科は技術、巧みさです。その人の偏差値や身分、地位は関係ない。心臓血管の病気の東京の主な施設の治療実績は順天堂190例、慈恵医大53例、東京医大60例ぐらい。60といったら月に5例、週1本ですよ。大学病院はそんなレベル。やっているのは全部個人病院。名前通ったところはありません。技術ですから身分、偏差値は関係ないんです。

皆さんも全身麻酔の手術をやらな駄目ですよって言われることがあるかも知れない。全身麻酔

はもしトラブルが起きた場合、あの世に行くか植物状態です。そこで私は申し上げておきます。最低でも3人の先生の意見は聞いてください。この間、私のところに相談に来た人

は主治医に胆嚢のポリープですぐ手術と言われた。私が紹介した専門家は「そんなもの手術する必要ない」と。もう一人は「様子を見たらいい」と。そういうことなんです。手術の説明を受けるときは必ずメモを取る。どんな手術をするのか、術式を聞く。あなたが、手術なんかしたくない、他の方法はないんでしょうかと聞いてみるのもいい。そこまで手術したくないなら内科的な治療をしようと言うかもわからない。何でかという技術ですからトラブルが起こるのは当たり前なんです。

日本では48,000人が医療のトラブルで死んでる。肺がんでの死者が59,000人ですよ。大腸がんと変わらぬ数が死んでるんです。もし手術が決まったら、その医者の病院のホームページはチェックしてください。病院の設備よりその先生がどれだけ手術しているかが大事です。この先生は大丈夫という思い込みは禁物。資料を出さない病院もおさらばすべきです。最後にゴッドハンドかパーパーハンドかを見極めること。神の手と言われないで、いくら世界的な論文書いたって関係ない。何かあればいつでも話してできる医者を一人捕まえておくのも大事です。

ありがとうございました。





## 2012年4月19日 沿岸被災地小中学校支援プロジェクト 贈呈式&支援先視察

4月19日にRI第2520地区仙台南ロータリー・クラブの例会で行われた「沿岸被災地小中学校支援プロジェクト」の贈呈式に、安井会長、齋藤副会長、片岡の3名で出席致しました。

当日はこの共同プロジェクトに協力をした仙台南ロータリー・クラブの会員をはじめRI第2640地区の和泉ロータリー・クラブ会員の方や支援先の各学校の校長先生が参加され、また地元テレビ局や新聞社の報道人が多数集まり、盛大な贈呈式となりました。

贈呈式ではRI第2520地区菅原ガバナー、和泉ロータリー・クラブ須藤会長そして安井会長から各学校の校長先生へ支援品の目録が渡され、各学校の校長先生から感謝の言葉や震災後の子供達の様子のお話がありました。宮城県内では多くの生徒さんが津波により家や学校が流されるなどの被害を受け、家族や親戚を亡くされるなど今までの生活が一変してしまいましたが、環境が変わってもそれに順応しようとする子供達の話を伺い、胸が痛みました。

そして贈呈式の後、山元町立坂元小学校と山元町立山下小学校を訪ね、支援した品物を確認し、各学校の見学をさせていただきました。校舎から震災以前は松林が見えなかった海岸が見えるなど津波の被害を目の当たりにしましたが、各学校の校庭では元気に遊ぶ子供達の姿が見られ、なにかほっとした気持ちになりました。

しかしまだまだ復興・復旧は終わっておらず、今後も継続して支援を行う必要性も感じました。

(記:片岡雅敦幹事)



仙台南RCでの贈呈式

### 宮城県内小中学校への設備・道具などの支援内容

学校名	支援内容
石巻市立大街道小学校	多目的ひな壇ワイド
石巻市立大谷地小学校	跳び箱、運搬車、マット、ダンボールカッター、ルーペ、自転車
石巻市立船越小学校	小学校社会DVD全18巻、理科DVD全20巻他
気仙沼市立気仙沼中学校	石膏型
気仙沼市立水梨小学校	加湿空気清浄機
亘理町立高屋小学校	塗装工事、ネットフェンス金網修理工事、軽量折り畳み椅子、リアカー、ワイド逆上がり補助版、コートブラシ
東松島市立赤井南小学校	鼓笛隊ユニフォーム
東松島市立大塩小学校	カーテン
南三陸町立志津川中学校	通学かばん
山元町立坂元小学校	インテリジェントプロジェクター、対流式ストーブ
山元町立山下小学校	OV型プラズマ型電子黒板、収納BOX、書画カメラ

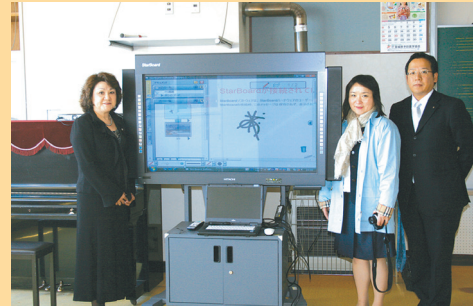
### 山元町立坂元小学校



インテリジェントプロジェクター、対流式ストーブ



### 山元町立山下小学校



OV型プラズマ型電子黒板





## ■ ニコニコBOX情報

松村 謙三さん

遅れましたので、お詫びとして。

宇佐見 千嘉さん

お休みが続きました。申し訳ありませんでした。

本日の卓話、楽しみにうかがわせていただきます。

安間 百合子さん

新田さま、本日の卓話たのしみにうかがわせていただきます。よろしく御願い致します。

山口 富久さん

今期もあと2ヶ月ですね。会長、幹事お疲れ様です。皆様お世話になりました。

山中 祥弘さん

森稔さんの夢を継承したいものです。ご冥福をお祈りします。

今村 道子さん

長い間お休みをしてしまいました。今週からはしっかり出席できるようになりました。よろしくお願いします。本日の卓話、楽しみにしております。

安井 悦子さん

新田八朗様、本日の卓話を楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

浅田 豊久さん

新田様、今日はご遠路おはこび頂きありがとうございます。「つばやき」を楽しみにして居ります。

平松 和也さん

ひさしぶりにヒルズからの景色を楽しみましょう。

5月14日 合計 38,000円  
累計 1,733,000円

## ■ 次回のプログラム

平成24年5月28日

卓話 『Before I leave Japan, A few words about Polish-Japanese relation\_ship』

駐日ポーランド共和国 特命全権大使

ヤドヴィガ・マリア・ロドヴィッチ・チェホフスカ 様

## プロフィール

1954年5月	ザブジェ(シレジア地方北部)生まれ
1977年	ワルシャワ大学言語文学部東洋研究所日本語学科 修士号取得
1977-1979年	東京大学文学部人文科学研究科比較文学比較文化専門課程 留学
1980-1989年	ワルシャワ大学言語文学部東洋研究所 助教授、准教授
1982年	ワルシャワ大学言語文学部東洋研究所 博士号取得
1979-1992年	「ガルジェニツェ」演劇センター研究員
1993年	外務省入省(アジア・アフリカ・オーストラリア・オセアニア局極東課)
1994-1999年	駐日ポーランド共和国大使館 一等書記官、参事官
2000-2001年	プロジェクト・マネジメント・カンパニー経営
2001-2002年	外務省 参事官、ワルシャワ大学言語文学部東洋研究所 講師
2002-2006年	駐日ポーランド共和国大使館 公使参事官
2006-2008年	外務省アジア太平洋局 上級参事官
2008年11月	駐日ポーランド共和国特命全権大使



## 5月14日の例会出席率(暫定)

- ・会員の例会出席数(出席率) 32名(67%)
- ・ゲスト・ビジターの参加者数 4名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



森の町内会  
問伐に寄与する紙  
www.mori-cho.org

この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための問伐と問伐材の有効活用に関与します

## 東京六本木ロータリー・クラブ

会長 安井 悦子

幹事 片岡 雅敦

広報・週報 渡辺 美智子

広報・週報 関口 明博

事務局 〓106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:http://www.tokyoroppongi-rc.jp/